

2021年5月7日

各 位

会 社 名 扶 桑 化 学 工 業 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 杉 田 真 一
(東証第1部・コード番号：4368)
問 合 せ 先 執 行 役 員 管 理 本 部 長 伊 藤 裕 之
(TEL. 03-3639-6311)

中期経営計画の策定に関するお知らせ

この度、当社グループは、2021年度から2025年度までの「中期経営計画“FUSO VISION 2025”」を策定いたしましたので、その概要を下記の通りお知らせいたします。

記

1. 計画の名称

中期経営計画 “FUSO VISION 2025”

2. 計画策定の背景

当社グループの持続的な成長のためには、当社グループとして中期的に目指すべき方向性・指針を社内外のステークホルダーに対して打ち出すことの必要性を感じ、今般「中期経営計画 “FUSO VISION 2025”」を策定いたしました。これを基に2025年度（2026年3月期）までを、『更なる飛躍のための足場固めと新規事業創出・第三の柱構築への挑戦のための5年間』と位置づけ、事業環境の変化への対応と新たな価値の創造に挑戦し続けることで、中期経営計画のサブテーマである『社会課題の解決に貢献するFUSOであるために』を実現してまいります。

3. 計画期間

2021年度（2022年3月期）～2025年度（2026年3月期）

4. 目指す企業像

「限りなき進歩と創造」の先にあるもの、当社グループが目指す企業像としては、その特定の分野で輝く数多くの金メダル製品と様々な価値観・アイデアを持つ社員がそれぞれの持ち場で生き生きと働き、社会に貢献し続けられる体力のある企業、そのような未来を思い描いています。

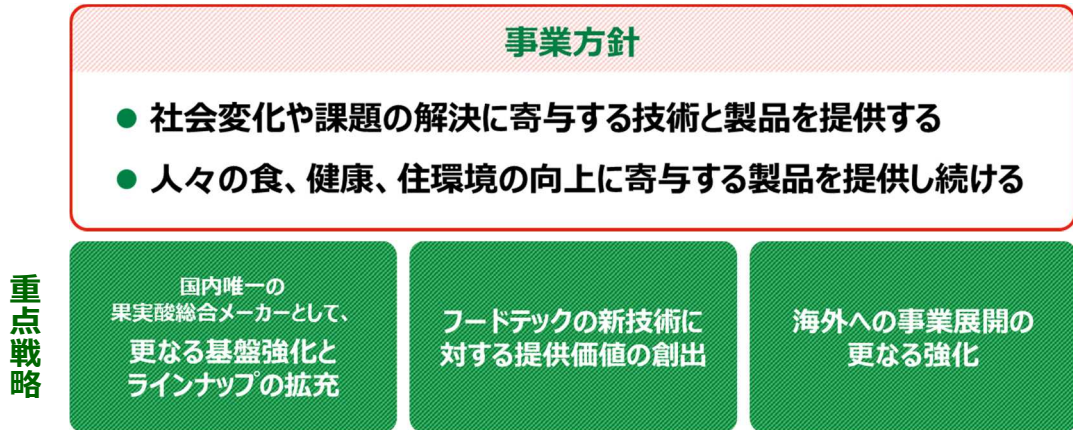


5. 経営方針

① 既存事業における拡大する需要の取り込み、着実な対応

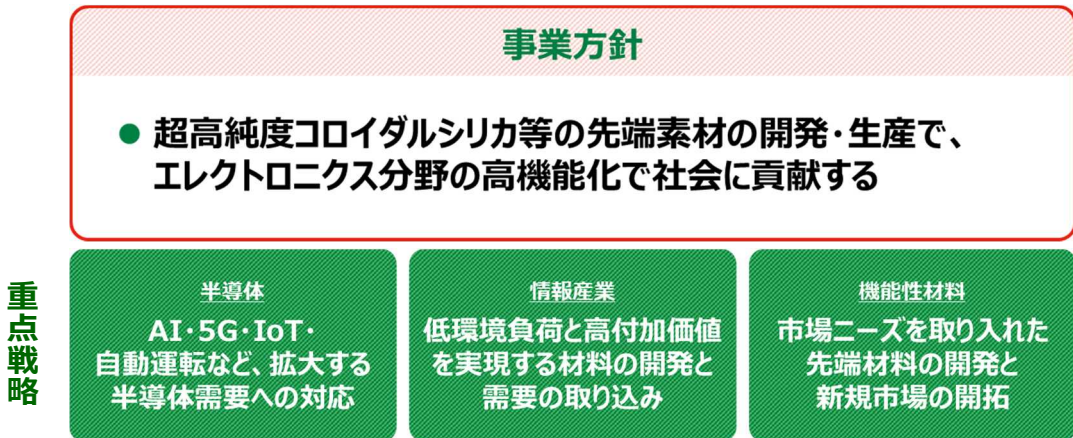
■ ライフサイエンス事業：

リンゴ酸を核とした海外事業の拡大戦略を加速するとともに、国内事業は採算性の向上を強力に推し進めます。また、コア技術を活かした新規テーマの創出にも注力いたします。食品用途においては、FUSO製品を使用した食品有効利用技術の提案を進め、地球環境と社会へ貢献できる新規テーマの創出に注力してまいります。



■ 電子材料および機能性化学品事業：

半導体業界の進展に伴う当社製品への需要拡大に備えた生産効率最大化を進め、供給者責任を果たしてまいります。世界中の人々の生活の豊かさ向上につながる製品開発を通じて社会に貢献してまいります。



② 新規事業・分野への投資・挑戦

社内外でのオープンイノベーションを推し進め、また外部リソースを最大限に活用し、ライフサイエンス・電子材料に続く、第三の柱となる新規事業創出に挑戦いたします。手段として、CVCファンドへのLP出資、M&A、ベンチャー企業との連携、産学連携など様々な手段を検討し、新たな柱となる事業の創出に挑戦いたします。

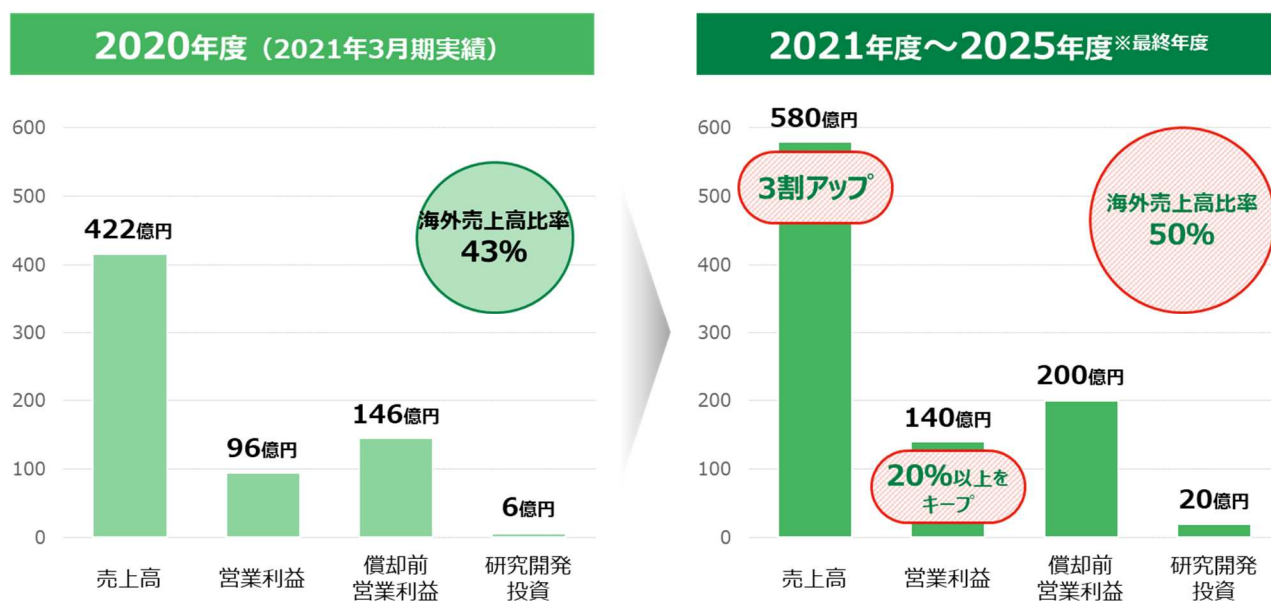


③ 持続的成長を支える経営基盤の強化

- ・ 企業責任・SDGsの取り組み
- ・ ダイバーシティ（多様性）の推進・意識改革

6. 中期経営目標（5ヶ年業績目標）

「中期経営計画 “FUSO VISION 2025”」では、ライフサイエンス事業部と電子材料事業部のコア事業領域を中心に収益力の向上を図り、売上高580億円、営業利益140億円、償却前営業利益200億円を目指します。



※ 「中期経営計画 “FUSO VISION 2025”」の詳細につきましては、当社ウェブサイトに掲載しておりますので、合わせてご参照ください。

当社ウェブサイト：<https://fusokk.co.jp/>

以上